学校教育目標

豊かにつながり
たくましく
ともに輝く子

横浜市立つつじが丘小学校　学校だより　　11 月号

Web Site　http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsutsujigaoka/
E-mail　y3tutuji@edu.city.yokohama.jp　（学校代表アドレス）

令和８年 10 月 30 日 発行
横浜市立つつじが丘小学校
TEL　045-981-7117
FAX　045-983-4548

さつきが丘で咲かせた運動会の花、59 年間の旧校舎への感謝の会

校長　小山　進治

先生と　話していれば　小春かな　（　寺田寅彦　）

清少納言は「秋は夕暮れ」と言いましたが、青葉区も実りの秋をむかえています。子どもたちの学びも充実して実る時季でもあります。先週の運動会では子どもたち一人一人が意欲的にめあてをもって参加する姿勢が感じられました。運動会開催を支えていただきました保護者の皆様を始め、本校PTA、父親の会、今年度初の試みで依頼した運動会ボランティア、そしてさつきが丘小学校の皆様とコミュニティハウスの関係者様には改めて感謝申し上げます。

今年度は私にとって 5 回目の本校の運動会でしたが、赤組 674 点白組 679 点とまれにみる大接戦でした。この大接戦を支えたリーダー、赤組応援団長の徳野さん、白組応援団長の山代さんの感想を紹介いたします。

準優勝　赤組団長　６年１組 徳野　太乃

まずは、赤組のみんなありがとう！！
私が団長に立候補したきっかけは父からのすすめでした。そして、あがり症の私でも挑戦してみたいと思い、立候補しました。うれしいことに、団長に選んでもらい、はじめてのお披露目の時、緊張のあまり、言葉が言えず、悔しい思いをしたことを覚えています。そんな自分を克服したくて、毎週日曜日には、必ず、発声練習をしました。
無事、本番までには、しっかり声を出せるようになり、応援、演技、競技のすべてで120%の力を出し切ることが出来ました。今年はおしくも負けてしまいましたが、私はこの運動会に悔いはありません。最後に運動会にたずさわったみな様、本当にありがとうございます。これからも、この経験を活かして、今後もがんばっていきたいです。

優勝　白組団長　６年２組 山代　和芳

応援団長として活動する中で、仲間をまとめる難しさと責任の重みを実感しました。また、みんなで力を合わせて一つの目標に向かう楽しさとやりがいを感じることができました。
運動会当日に全員で心を一つにして応援し、白組が優勝できたことは涙が出るほど嬉しかったです。その理由は、白組応援団長として、2026 年の白組を精一杯応援することができた達成感と私自身、2 年生の時に転校してきて、優勝したことが一度もなかったからです。
この経験を通して学んだことをこれからの学校生活や中学生になってからも生かしていきたいです。

さて、いよいよ 11 月 21 日(土)、旧校舎解体前に子どもたちや地域の方と共に旧校舎お別れ会イベントを予定しています。先日、本校初代PTA会長の古性さんから創立時の本校の記録をいただきました。改めて本校が地域の皆様によって育まれ愛されてきたことを実感しました。
感謝の気持ちは、日々の学びの充実で表していきます。子どもと教師のよき関係を軸に、今月も学びの花を咲かせます。冒頭の俳句のように、チーム担任制も生かし、子どもと教師がほっこりできる学校組織を磨いていきます。

＜本校初代PTA会長古性浩さんからいただいた記録より＞

田奈小学校ソツジ分校は山砂むきだしの丘の上でした。かつてあったであろう森をブルドーザーで剥ぎ取ったばかりの丘でした。その砂の上に工事現場によく見かける様なプレハビテイションの教室が2棟在るのみでした。

本建築の校舎の工事も始まって居ましたがでも西昇降口から職員室迄の様でした。

いよいよ新築校舎が出来上がると新小学校の立ち上げです。これに当たっては本当に田奈小学校の PTA 役員の方々にはとってもよく援助して頂きありがたかった事を思い出しています。職員室の金属キャビネットなどもみんな田奈小 PTA からの贈り物でした。

その他忘れてはならないのは大林寺の住職の方から 40 万という大金を市の予算は付いていないだろうから図書費にとご寄付いただいております、これが今のつつじが丘小の図書室の始まりと思います。月給 13600 円なんて歌が有りましたがそれよりちょっと上向いた頃の話です。

わたしもその頃は勤め人でしたが一般の人日本ではまだ週6日制でしたが私のところは五日制でした。その一日を水曜日と土曜日に半日ずつ分けて取って居たので時間の余裕がありましたが…その関係で PTA の仕事の他にもいろいろの町のお役も引き受ける事となっていったわけです。市の行政にも少しこちらを振り向いてもらおうと働きかけると市長さんが来てくれる事になりました。(続く)